

特別支援教育

1. 目 標

- 入級児一人ひとりのもっている可能性を充分のばして、学校生活（集団生活）に適応できる基礎的学力・生活態度や社会性を身につけさせ、将来自立できる力を養う。
- 全校児童1人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行う。

2. 努力点

- 基礎的な学力の向上をはかり、 わかることの喜びを感じさせ、 反復して身につけさせる。
- 児童に応じた交流のしかたを考える。
- 日常生活に必要な基本的な習慣や態度を、 交流学級と連絡を密にしながら指導に当たる。
- 自信をもって、のびのびとした学校生活がおくれるようにする。
- 仲よく助け合う学級づくりをする。
- 交流の機会を多く持ち、 全校児童に障害を持つ子どもに対する正しい理解と認識を深める。
- 個別の指導計画にそった指導をする。
- 教職員自らが個々の子どもの実態を知り特別支援教育に取り組み、適切な関わりができるように研修を深める。

(1) 交流の目的

交流を通して入級児を正しく理解・認識できる触れ合いの場作りをする。

(2) 交流の持ち方

原則として、学級単位で交流する。

- 事前になかよし学級の子ども連について学級で指導する。
- 交流後、感想等をまとめる。気になる言動があれば特別支援教育部と連絡をとり合い適切な指導をする。

(3) 交流の内容

一緒に楽しく遊ぼう

【例】 (ゲーム的なもの)

- ・宝さがし
- ・じゃんけん列車
- ・ビーチバレー
- ・ボーリング
- ・ふわふわドッジボール
- ・何人集まれ
- ・豆はこび

(手作り遊び)

- ・紙飛行機
- ・折り紙だこ
- ・わりばし鉄砲
- ・ブンブンごま

(運動的なもの)

- ・なわとび
- ・ダンス
- ・鉄棒
- ・ぶらんこ

(4) 交流計画

- 一学期 高学年
- 二学期 低学年
- 三学期 中学年